



かくせいきのこえがー むなしくきえていく  
いまあらたなてきがー にほんをねらってる  
ばいこくどのゆめをー はかなくうちくだき  
やまとのたましいがー ふたたびわきいでる



おれていくこのころを やさしくささえるみはた  
こくなんにたちむかーう きみらにみらいをたくし  
ざいにちにけがさーれた このくにのせいじをただせ  
ゼットきをひるがえーし たたかうせいぎのせんし



そらにはためくきょくじつき あまてらすのしるし  
われらはくだんのやすくにで そこくをまもーる  
みあげたひとみにかがやくは にしきのみはーた  
ゆうきをこぶするひのまるに こころでちかーう



たたかいつづけよおー やがてかわるだる  
こうこくまもるため  
こころひとつにしめ  
にほんをまもるため



たたかいつづけよおー みらいをしんーじて  
ちからつきるまで  
ねがいがかなうまで



いのーちつきるまで いのーちつきるーまで